

2月のおすすめの絵本

2/4（月）より玄関の棚のクリアケースにて掲示します。

貸し出しはご遠慮いただいておりますが、ぜひ手に取ってお子様との大切な時間を共有してみてくださいね。

0歳児（ひよこ組） 「たまごのあかちゃん」

色々な形・色々な大きさのたまごから次々と赤ちゃんが出てきます。みんなで「でっておいで〜！」と声を合わせていう姿がとても可愛いです。



1歳児（あひる組） 「ふうせん」

黄色のふうせんが…、あれ、ちょうちょになった！保育園で25年以上歌い継がれた「ふうせん」が絵本に。いろいろな動物がふうせんを持ってきます。何になるのかな？



2歳児（ぺんぎん組） 「きょだいなきょだいな」

あったときあったとき……巨大なピアノがあったとき！巨大なピアノ、巨大な石けん、巨大な扇風機などで百人の子どもが思いきり遊びます。リズムカルな言葉と元気な絵の楽しい絵本です。



3歳児（ねこ組） 「しごとば 東京スカイツリー」

大ヒット「しごとば」シリーズの鈴木のりたけが、2年半かけて東京スカイツリーを徹底取材。世界一高いタワーをつくりあげる人々、仕事の現場が、大迫力の絵本になりました！



4歳児（とら組） 「うみの100かいだてのいえ」

100かいだてのてっぺんにすむだれかからあそびにきてね、とてがみをもらったトチくん。ちずをみながらあるいていくと、きゅうに100かいだてのいえがあらわれました！みあげても、うえのほうはかすんでよくみえません。トチくんは、100かいまでたどりつけるのでしょうか…？



5歳児（らいおん組） 「バルバルさん」

バルバルさんは、町の床屋さん。毎日楽しく働いていますが、ある日、ライオンが、たてがみをきれいにしてほしいとやってきます。次にワニが毛をはやしてほしいと、次々に動物のお客さんがやってきました。初めはびっくりしていたバルバルさんも、だんだん楽しくなって注文にこたえていきます。夕方、店を閉めようとする、看板にいたずら書きが……。



保護者の方向け

おすすめBOOK「うまれてきてくれて ありがとう」

「ぼくは、ママをさがしているの。かみさまが、『うまれていいよ』っていつてくれたから…」クマくんやぶたくん、ほかの動物たちはみんなママと一緒にです。ぼくのママは、どこにいるの？「あなたは、世界でたった一人のかけがえのない存在。うまれてきてくれて、ありがとう。」絵本を通じて、親から子へメッセージを伝えることで、子どもの自己肯定感を育み、かけがえのない命の誕生を親子で喜びあう絵本です。

